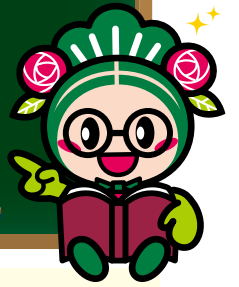


マッキーの防災教室

第10回 「大規模停電に備えてできることは？」

皆さんこんにちは。9月4日に四国・近畿地方を縦断した台風第21号により各地で大きな被害が発生し、松原市においても、住家の被害や、電線の切断による長期間の停電などが発生しました。災害への備えにおいて一番大事なことは、危機意識を持つことです。防災を後回しにせず、今できる備えを考えてください。今月は、「大規模停電に備えて」をテーマにマッキーと一緒に勉強します。



大規模停電が発生した時に起こることって？

電気が使用できなくなることで、部屋の明かりはもちろんですが、エアコンなども使用できなくなるため、夏場であれば熱中症に注意が必要です。冷蔵庫も電源が入らないため食品の腐敗も早くなります。また、街灯や信号が消え、交通事故や犯罪にも気を付けなければなりません。

電気が使えない生活を想像して、停電時に必要なものをそろえよう！

大規模停電への備えと対策って？

地震や台風などにより大規模な停電が発生した場合の対策や備えについて、普段から考えておきましょう。

備えておくこと

- ・医療器具などを使用している方は、非常用発電設備がある医療機関について事前に確認しておきましょう。
- ・台風などの情報収集のために、電池式のラジオなどを用意しておきましょう。
- ・スマートフォンなどの予備バッテリーを準備しておきましょう。
- ・懐中電灯はすぐに取り出せる場所に保管し、使用できるか、定期的に点検を行いましょ。
- ・マンションなどでは停電により断水になることがあります。飲料水、生活用水の備蓄を行いましょ。
- ・常温で食べれる食料品やカセットコンロを備えましょ。
- ・停電解消時の通電火災を予防するために感震ブレーカーを設置しましょ。



停電発生時の行動について

- ・照明には懐中電灯などを使用しましょ。ろうそくなどは、火災の原因となる場合があります。
- ・地震発生時などは、ガラスが飛散している場合があるため、室内ではスリッパを履きましょ。
- ・停電解消時の火災を防ぐために、電気器具のコンセントを抜きブレーカーを切りましょ。停電解消後は、ブレーカーを入れた後に、コンセントを差し込んでください。
- ・大規模な停電では、街灯も消えるため夜間の不要な外出は避けましょ。
- ・台風などで切断したり、垂れ下がっている電線には近づかない。
- ・燃焼系の発電機や練炭など一酸化炭素中毒の危険があるものは屋内では使用しない。
- ・熱中症の予防として、部屋の換気を行い、こまめな水分補給を行いましょ。



台風第21号に伴う罹災証明書・被災証明書の申請について

台風第21号に伴う罹災証明書・被災証明書の申請を受け付けています。

- ・罹災証明書・・・建物の被害に対する証明書
 - ・被災証明書・・・建物以外の工作物（アンテナ、門扉、カーポートなど）や自動車などの被害に対する証明書
- ※証明書は何に使用するか用途をご確認の上、必要である場合のみ、手続きを行ってください。
- 申請に必要なもの・・・○被害にあった場所の写真（近景と全体が分かる遠景の写真） ※返却はできません
 - 印鑑
 - 身分証明書（免許証など身分の証明となるもの）
- 証明書の申請、発行に関する問い合わせは危機管理課へ。